

吹田民主商工会

いんぷおめ〜しよん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 63883-2211
FAX (06) 63882-8190
http://www.suita-minsyou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

12月6日秘密保護法案が自民公明によって強行採決されました。これほど恐ろしい法律はありません。手続きも、内容も問題ばかりです。平和な社会を継続させるために、廃棄を求めて運動しましょう。

選挙公約にも、施政方針にもない法律

一票の格差に関連して昨年12月の総選挙や今年7月の参議院選挙の妥当性が裁判で争われています。最高裁では「違憲状態」との判決がでました。自民党が多数を得たのは選挙制度のおかげです。それだけに謙虚な政権運営が求められています。ところが、参議院選挙後の自民党の政権運営は強引です。「秘密保護法」の制定は選挙公約にもありませんでした。普天間基地の移設問題では自民党沖縄県連の選挙公約を強引な圧力をかけて反故にさせました。TPPでは、選挙公約を無視して妥結に向けて突っ走っています。これでは独裁政治です。国会審議も軽視しています。内閣を国権の最高機関である国会の上に置くことは三権分立を無視するものです。安倍内閣は日本国憲法を守るべきです。

秘密保護法は戦争準備の法体系づくり

日本版NSC、秘密保護法の制定。その次にくるのが、武器輸出3原則の見直し、防衛大綱の見直し、集団的自衛権の見直しです。こうして憲法第9条の外堀を埋めて9条を変えなくても「海外で戦争ができる国」を作ろうとしています。武器輸出3原則の見直しで、アメリカと共同で武器の製造ができることをなりませす。背後に日米の軍需産業がいます。防衛大綱の見直しで敵基地の攻撃ができるようになります。自衛隊は専守防衛ではなくなります。そして、集団的自衛権を容認することで、アメリカとともに海外で戦争できるようにします。だから、戦争できる国にするのに「秘密保護法」がどうしても必要でした。しかし、秘密保護と基本的人権の尊重は両立しません。結局、知る権利だけでなく、多様な人権が制限を受けたり無視されたりすることにつながります。

最大の懸念は国民に対する

「監視社会」に向かっている

「何が秘密か、秘密」、「公開まで60年」、「第三者機関」など、1か月の審議の中で問題点が数多く浮き彫りになってきました。しかし、最大の懸念は監視の対象が秘密を扱う公務員だけではなく、仕事を委託される民間人やその周辺にいる一般国民にも向かうことにあります。このことは一部のマスコミを除いてあまり報道していません。12月7日付毎日新聞朝刊がその危険性を報道しています。以下、その内容を紹介します。

▼ 公務員や仕事を委託される民間人が

5年ごとに受ける「適正評価」

- ① スパイやテロとの関係
- ② 配偶者、父母、子、兄弟姉妹、配偶者の父母と子、家族以外の同居人の住所、氏名、生年月日、国籍
- ③ 犯罪・懲戒歴
- ④ 情報の扱いに係わる違法行為歴
- ⑤ 薬物の乱用や影響
- ⑥ 精神疾患
- ⑦ 飲酒の節度
- ⑧ 精神状態や経済的状况

▼ 調査項目の書き方 (海上自衛隊の記入要綱では)

- ① 親族等の構成図の記入。
- ② 安易に不明としない。
- ③ 負債の詳細
- ④ (金融機関名、金額、返済予定日、目的等) 情報保全の担当部署から求められた場合は、携帯電話の通話記録等の提出の誓約書提出
- ⑤ 情報漏れの事故があった場合は
うそ発見器検査に応じる誓約書提出

▼ 確認、照会作業の権限

調査は本人だけではなく、省庁側が「知人への質問」や「公私の団体に照会」できる。提出された調査票の内容が正しいかどうかを警察に確認できる。

▼ 公安当局がこの膨大なデータを握れば

退職公務員や契約終了の民間人の
監視社会を招く恐れがある
個人情報扱いに規定なし
行政機関同士の情報のやり取りが可能となる

数の横暴は弱さの表れ!

国民のエネルギーは持続!

日本弁護士会、日本ペンクラブ、学者、文化人など、短期間に数多くの個人や団体が反対の声、慎重審議の声を挙げました。全国各地でデモや集会、学習会が無数に展開されました。その世論がマスコミ報道の内容を変化させました。平和や基本的人権、国民主権を守れとの国民世論と悪法を許さないエネルギーは、これからも持続します。安倍内閣の基盤は国会議員の数と比例してはいません。もろい基盤の上に乗っているだけです。暴挙に次ぐ、暴挙は安倍内閣の弱さの表れです。秘密保護法廃棄に向けて思想信条の違いを越えて力を合わせましょう。



秘密保護法廃棄に向けて、思想信条を超えて力を合わせよう

お買い物は地元の市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともい!